

● 京都女子大・関西外語大学の学生、先生方が、霊山プロジェクトを視察（2022-8-9）

8月4日、霊山プロジェクト現地代表大沼氏のところを、京都女子大・関西外語大学の学生16名、先生方3名、伊達市の関係者が訪問されました。目的は3.11関連の復興作業で生じた宅地除染土砂（フレコンバックで収納）一時仮置き場の、撤去後の活用状況を視察することです。今回が3回目となります（前回は2021年3月）。

仮置き場は大沼氏宅から近いところの砂防ダム下流域です。最初は河津桜が植えられ、その後は、大豆、信夫冬菜、ナツハゼなどの野菜、果実などの栽培に使われています。これらの材料は地域特産品“ほまじのわ”の材料として活用されています。

また、バイオガスマイスターでもある大沼氏により、食用に適さなくなったあんぼ柿、野菜くずなどをメタン発酵でバイオガスを発生させエネルギー回収する設備、近隣の食堂で発生する天ぷら廃油からの重機用の再生燃料設備など（いずれも大沼氏の自作です）の説明がありました。

見学した学生の皆様は、これらの活用方法に大変関心を示され、多くの質疑応答がなされました。最後に小国（おくに）の熟した桃を賞味頂きました。

**● 宮代町プロジェクト クラウドファンディング（寄付型）の設立（2022-8-2）**

埼玉県宮代町を拠点として、宮代みやしろ SGD_s プロジェクト（宮代町プロジェクト）「顔の見える地産地消の食とエネルギーづくり」を展開して4年目に入り、この間、活動は宮代町に手造りメタン発酵バイオガス化設備を設置し野菜くず、食品残渣の処理ができるようにし、この設備を地域住民（高齢者と障がい者を含む）や学生が管理運転できるよう進めています。またメタン発酵処理基礎知識と管理運転技術の研修やバイオガスマイスター（商標登録申請中）認定などの仕組みをつくり展開しております。このPJ活動をさらに進化・発展させるためのご協力をお願いするためにクラウドファンディング（寄付型CF）を設立致しました。

詳細は再エネ支援・宮代町プロジェクト クラウドファンディングページ又は右上バナー[宮代町プロジェクトクラウドファンディング]を参照ください。

一口 ¥1,000の寄付型クラウドファンドですが、有志の方のご応募をお待ちしております。

● REPA オンライン勉強会【第五回】（2022-8-29）

8月27日（土）15:00 から Skype による REPA オンライン勉強会を開催しました。

今回は、株式会社 東芝 生産推進部 環境推進室 大森洋平様より「カーボンニュートラル(CN)とサーキュラーエコノミー(CE)の動向～企業に求められる対応～」と題し、(CN)及び(CE)での企業側の取り組み、今後の展望について解説して頂きました。

その後活発な質疑応答、ディスカッションを行いました。今まで漠然と理解していたサーキュラーエコノミー(CE)の社会的要求、企業としての取り組み方について詳しく解説していただき、その重要性、方向性について改めて理解が深まりました。勉強会の資料及び動画は会員専用 HP【情報交換室】ページよりご覧頂けます。

